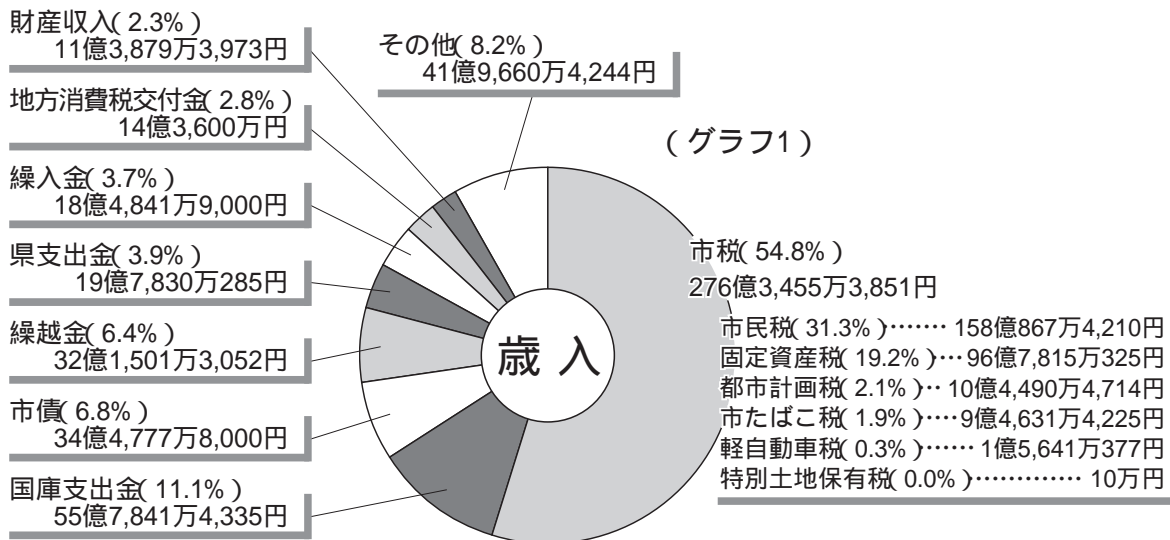


平成19年度の決算状況報告



その他の内訳

- 諸収入(1.9%)...9億7,635万6,730円
- 使用料及び手数料(1.6%)...8億1,231万654円
- 国有提供施設等所在市町村助成交付金等(1.0%)...4億9,191万7,000円
- 分担金及び負担金(0.9%)...4億7,760万7,794円
- 地方譲与税(0.8%)...4億1,134万3,000円
- 自動車取得税交付金(0.6%)...3億340万3,000円
- 地方特例交付金(0.4%)...2億1,299万1,000円
- 地方交付税(0.3%)...1億6,275万3,000円
- 配当割交付金(0.2%)...1億522万3,000円
- 利子割交付金(0.2%)...1億25万7,000円
- 株式等譲渡所得割交付金(0.1%)...5,863万4,000円
- ゴルフ場利用税交付金(0.1%)...4,544万5,431円
- 交通安全対策特別交付金(0.1%)...3,040万3,000円
- 寄附金(0.0%)...795万9,635円

歳入は、市の財源として入ってきたお金で、前年度に比べ6.8%増えました。グラフ1は、その内訳を表したものです。市税は歳入の半分以上を占め、市民税が増額となったこと

歳入 504億7千387万6千740円

平成19年度の一般会計決算がまとまり、第4回定例市議会にて認定されました。市の財政の中心の一般会計における歳入決算額は504億7千387万6千740円、歳出決算額は477億4千299万1千965円となりました。今月は、私たちの税金がどのように使われているか、お知らせします。

歳出 477億4千299万1千965円

とで9.1%の増となりました。次に多いのは国庫支出金で、福祉などの民生費関係の負担金が増額となっています。以下、市債、繰越金、県支出金、繰入金の順になっています。また、市民の皆さん一人当たりで換算した市税は17万3千875円で、前年度に比べ9.2%の増となりました。

歳出は、市民の皆さんのために使われたお金で、前年度に比べ8.4%増えました。グラフ2は、歳出を目的別に表したものです。民生費が最も多く、次いで土木費、総務費、公債費、教

育費の順になっています。表2は、目的別歳出を市民の皆さん一人当たりで換算したもので、合計は30万3,997円で8.5%の増となりました。また、表3は、歳出を性質別に表したもので、人

■歳入歳出総額

(表1)

区分	歳入	歳出	
一般会計	504億7,387万6,740円	477億4,299万1,965円	
特別会計	国民健康保険	156億2,381万6,870円	151億165万4,850円
	下水道事業	50億6,532万2,541円	49億8,736万6,387円
	老人保健	93億7,084万3,980円	89億2,092万3,703円
	上広瀬土地区画整理事業	2億292万6,191円	1億8,270万3,131円
	狭山市駅東口土地区画整理事業	6億4,241万3,456円	6億2,083万4,062円
	介護保険	59億7,451万7,378円	56億5,490万2,253円
	合計	873億5,371万7,156円	832億1,137万6,351円

重点事業の決算

(表4)

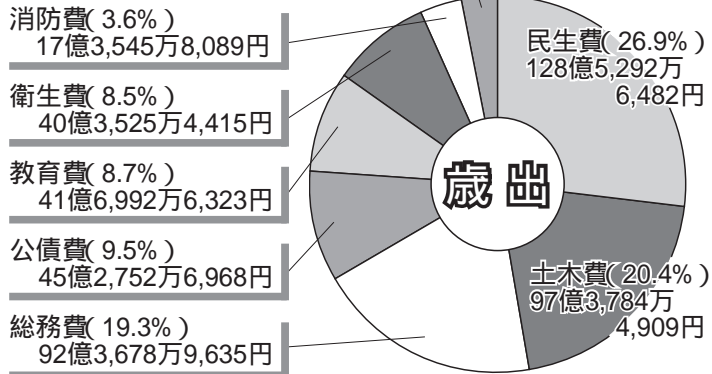
総務費	地区まちづくり推進事業	799万5,400円
	交通安全施設整備事業	2,064万3,905円
	防犯設備整備事業	449万4,945円
	テレビ共同受信施設更新事業	3,570万2,426円
民生費	後期高齢者医療制度準備事業	1億638万3,457円
	社会福祉施設整備費補助金	4,000万円
	障害者就労支援事業	1,150万3,848円
	母子家庭等自立支援事業	103万5,677円
	児童手当の乳幼児加算	1億3,149万5,000円
	要保護児童対策地域協議会の設置	7万1,000円
衛生費	生活保護受給者就労支援事業	241万4,880円
	廃プラスチック類分別収集リサイクル事業	1億1,834万6,220円
	第二環境センター設備改修事業	5,397万5,000円
労働費	リサイクルプラザ整備事業	7億5,909万323円
	雇用促進システム整備事業	93万8,700円
農林水産費	茶園防霜施設等設置事業	180万円
	基盤整備促進事業	5,061万2,345円
商工費	中心市街地等商業活性化支援事業	155万1,611円
	商店街環境整備事業	24万4,000円
	店舗・住宅リフォーム補助事業	349万6,000円
土木費	建築物耐震改修促進事業	683万6,000円
	道路維持補修事業	3億512万7,783円
	一般市道整備事業	1億9,510万2,428円
	市道幹第9号線整備事業	498万7,080円
	不老川橋りょう改修事業	6,787万4,164円
	水路改良事業	707万9,100円
	いっ水対策事業	1,649万4,450円
	水富地区住居表示整備事業	252万円
	狭山市駅西口地区第一種市街地再開発事業	46億9,230万9,000円
	新都市機能ゾーン整備事業	1億8,403万5,270円
	入曽駅東口地区市街地開発事業	2,737万350円
	狭山市駅霞野線整備事業	6,697万9,785円
	新狭山駅南口線整備事業	3億7,129万6,774円
	稲荷山特別緑地保全地区公有地化事業	2億1,781万7,040円
	緑のトラスト保全事業	1億5,947万9,400円
	智光山公園テニスコート指定管理事業	1,800万円
	智光山公園用地取得事業	1億1,417万9,995円
既存市営住宅改修等事業	6,274万4,794円	
消防費	消防特殊資器材整備事業	465万3,599円
	消防機械施設整備事業	1,312万5,000円
	地域防災無線整備事業	7,162万9,000円
教育費	いじめ・不登校対策事業	1,380万420円
	公共施設AED自動体外式除細動器設置事業	181万7,970円
	小中学校校舎等改修事業	3,765万3,000円
	小学校校舎耐震補強事業	2億2,690万5,000円
	小学校校舎空調設備改修事業	8,306万円
	地域子ども教室推進事業	178万2,235円
	学校支援ボランティアセンター事業	69万8,012円
狭山台公民館改修事業	1,954万500円	
第一学校給食センター更新事業	4,520万7,786円	

その他(3.1%)

14億4,726万5,144円

商工費(1.0%).....4億5,210万3,714円
 労働費(0.9%).....4億1,443万2,928円
 議会費(0.6%).....3億210万2,930円
 農林水産業費(0.5%)...2億5,087万2,226円
 諸支出金(0.1%).....2,775万3,346円

(グラフ2)



性質別内訳

(表3)

一人当たりの歳出(表2)

項目	金額
人件費	104億7,606万2千円
普通建設事業費	79億1,661万4千円
扶助費	66億2,122万8千円
物件費	65億1,559万1千円
繰出金	53億3,261万5千円
公債費	45億2,748万4千円
積立金	40億6,263万3千円
補助費等	13億7,200万3千円
投資及び資金貸付金	6億1,051万6千円
維持補修費	3億824万6千円
合計	477億4,299万2千円

項目	金額
民生費	8万870円
土木費	6万1,270円
総務費	5万8,117円
公債費	2万8,487円
教育費	2万6,237円
衛生費	2万5,390円
消防費	1万919円
商工費	2,845円
労働費	2,608円
議会費	1,901円
農林水産業費	1,578円
諸支出金	175円
合計	30万397円

問合せ財政課へ
 内線 7113

件費が最も多く、前年度に比べ0.9%の減となりました。続いて、普通建設事業費、扶助費、物件費の順になっています。

表4は、重点事業の主な決算で、後期高齢者医療制度の準備、障害者就労支援などのソフト事業をはじめ、リサイクルプラザの整備、狭山市駅西口再開発の関連事業、緑のトラスト保全事業、小学校校舎の耐震補強など、さまざまな事業を行いました。

平成19年度 水道事業会計決算状況

問合せ水道業務課へ内線2312

平成19年度の水道事業会計決算が認定されましたのでお知らせします。

●収益的収入と支出

収入31億5,137万8,996円 支出29億2,152万7,109円
 利益剰余金(税抜)1億8,751万6,745円は、減債積立金に積み立てました。

●資本的収入と支出

収入4億2,013万5,860円 支出13億6,276万5,233円
 不足額9億4,262万9,373円は、留保資金などで補てんしました。

●給水原価の内訳

水道水1m³当たりの給水原価(製造価格)は、157.84円です。

